

致記念會を附して諸君に光を思は
出さす。稿めの建白書を送ったか否かは
少しも諸君に省けられず其結果自
報知社の活字台 願回復をギツカテ各
社の一週復の諸業と云ふに

として諸君此の筋路日身は又適當の
時期を見よとの差 近日將來のと
言ふ諸君の公約に依りて深く是付いた
のであつた

今後はもう建白では無い 催集を僕
等百餘に年頭先づ僕等々の大會を
開いて三夜諸君は八時召寄り協制
最後復八時制とと 西原 十時

を決り先づ諸君の再及の公約の即
時実行を迫る事のである

大正十一年二月末

新聞工組合
正進會 印 □

而して毎日の東京日日 報知 都 四社 面會
謝絶 ややと 時事 東京日日 中央 國民
ハ幹部會見 更々回答ヲ導ヘタリ

也まとい 既ニ計劃中ニモ実行期日ハ明定シテ
時事 (本社) 既ニ実行中ナリ

朝日 (本社) 既ニ実行中ニテ 最近 賃金 縮小
諸君 當り 各日 八時 召寄り 達シタリ

中史 (本社) 職工 八時 召寄り 達シタリ